



おぐに議会だより

第25号

平成28年11月10日

- 教育長・教育委員の任命に同意
- 9月定例会で決算を認定
- 町政を問う（一般質問）

発行 小国町議会

編集 広報特別委員会

〒869-2592

熊本県阿蘇郡小国町宮原1567-1 TEL.0967-46-2119

人事案件

○教育長の任命

麻生廣文さん(宮原在住、南小国町出身、任期は3年)

北里武一前教育長の任期満了に伴い新たに教育長を任命するもの

○教育委員の任命

田代篤雄さん(下城、任期は4年)

任期満了に伴い教育委員を再任するもの



麻生廣文教育長

補正予算

○平成28年度一般会計補正予算…4億1千4百72万円

(主なもの)…震災復旧緊急対策経営体育成支援事業1千80万円

農地災害復旧費5千1百10万円

農業用施設災害復旧費2千3百53万円

土木施設災害復旧費1億5千2百10万円

財政調整基金積立金1億5千万円

○平成28年度国民健康保険特別会計補正予算…7百万円

(主なもの)…保険給付費7百万円

○平成28年度介護保険特別会計補正予算…6百68万円

(主なもの)…高額医療合算介護サービス費2百万円

還付金等4百68万円



町道木魂館線災害現場

決算認定

○平成27年度一般会計歳入歳出決算認定

反対討論…児玉議員

賛成討論…穴井議員

○平成27年度国民健康保険特別会計歳入歳出決算認定

反対討論…児玉議員

○平成27年度介護保険特別会計歳入歳出決算認定

反対討論…児玉議員

○平成27年度後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算認定

反対討論…児玉議員

○平成27年度地方改善施設住宅新築資金等貸付金特別会計歳入歳出決算認定

○平成27年度坂本善三美術館特別会計歳入歳出決算認定

反対討論…児玉議員

○平成27年度簡易水道特別会計歳入歳出決算認定

○平成27年度農業集落排水事業特別会計歳入歳出決算認定

○平成27年度水道事業会計利益の処分及び決算の認定



決算審査の報告の様子

採決結果一覧表

(条例などの名称は一部短縮して記載しています。)

	議案番号	事件名	採決結果	穴井 帝史	大塚 英博	北里 勝義	高村 祝次	児玉 智博	時松 唯一	穴見 まち子	松崎 俊一	熊谷 博行	時松 昭弘	松本 明雄
専決承認・条例・補正予算・人事案件など	承認第5号	専決処分事項の承認(一般会計補正予算 第3号)	承認	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	承認第6号	専決処分事項の承認(一般会計補正予算 第4号)	承認	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	議案第40号	小国町税特別措置条例の一部改正	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	議案第41号	平成28年度一般会計補正予算(第5号)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	議案第42号	平成28年度国民健康保険特別会計補正予算(第2号)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	議案第43号	平成28年度介護保険特別会計補正予算(第1号)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	同意第2号	小国町教育委員会教育長の任命について	同意	賛成8 反対3										
	同意第3号	小国町教育委員会委員の任命について	同意	賛成6 反対5										
	認定第1号	平成27年度一般会計歳入歳出決算認定	認定	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○
	認定第2号	平成27年度 国民健康保険特別会計歳入歳出決算認定	認定	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○
	認定第3号	平成27年度介護保険特別会計歳入歳出決算認定	認定	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○
	認定第4号	平成27年度後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算認定	認定	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○
	認定第5号	平成27年度地方改善施設住宅新築資金等貸付金特別会計歳入歳出決算認定	認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	認定第6号	平成27年度坂本善三美術館特別会計歳入歳出決算認定	認定	○	○	○	○	×	×	○	○	○	○	○
	認定第7号	平成27年度簡易水道特別会計歳入歳出決算認定	認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	認定第8号	平成27年度農業集落排水事業特別会計歳入歳出決算認定	認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	認定第9号	平成27年度水道事業会計利益の処分及び決算の認定	認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	発議第2号	開発センター建替え検討特別委員会の設置	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

9月定例議会で平成27年度各会計決算を認定!

各 会 計	収入(歳入)	支出(歳出)
一 般 会 計	61億2千4百94万円	57億9千5百72万円
国民健康保険特別会計	13億4千9百31万円	13億3千9百97万円
介護保険特別会計	10億1千3百69万円	10億9百58万円
後期高齢者医療特別会計	1億91万円	9千7百74万円
地方改善施設住宅新築資金等貸付金特別会計	61万円	61万円
坂本善三美術館特別会計	1千1百51万円	1千1百51万円
簡易水道特別会計	6百39万円	6百16万円
農業集落排水事業特別会計	1億3千9百79万円	1億3千7百90万円
水道事業会計利益の処分及び決算	1億3千9百74万円	1億3千80万円

○税特別措置条例の一部改正

…平成28年7月1日に小国町山村振興計画が策定され、産業振興施策促進事項で税制支援措置(固定資産税の不均一課税)が定められた事による改正。併せて語句等の整備を行った

専決承認

○平成28年度一般会計補正予算(第3号)の専決処分事項の承認

(補正の内容)…中学校部活動九州大会出場補助金1百5万円
全日本中学生ホッケー選手権大会出場
補助金2百75万円



ホッケー全国大会

○平成28年度一般会計補正予算(第4号)の専決処分事項の承認

(補正の内容)…中学校部活動全国大会出場
補助金1百30万円



バドミントン全国大会

報 告

○平成27年度決算に基づく財政健全化判断比率の報告

提出された、算定の基礎となる事項を記載した書類は適正に作成されていると認められた

○放棄した私債権の報告…3百65万円

小国町債権管理条例第10条の規定により106件の私債権を放棄

開発センター建替え検討特別委員会を設置!



昭和47年に建てられた山村開発センターは、先の地震により被害を受け、現在使用を中止しています。平成25年度に行われた耐震構造の調査では耐震工事が必要と判断されました。その後の地震で4階のガラスが割れるなどの被害が出たため、建て替える方向で計画が進められています。

議会でも今後論議を重ね、住民の皆様の理解がいただけるような、また使いやすい施設となるよう検討を行う特別委員会が全会一致により設置されました。今後、利用スペース、財政面などの検討が行われます。

特別委員会は議長を除く11人の議員で構成されます。

委員長に時松唯一議員、副委員長に北里勝義議員が選出されました。

第1回 開発センター建替え検討特別委員会 平成28年9月21日

■9月21日午後3時30分から森林保全センターで第1回 開発センター建替え検討特別委員会が開催され、執行部から建替え施設のイメージ図の説明や今後のスケジュールについて説明があり質疑応答を行いました。



消防団応援の店の展開は

穴井 帝史

【町長】私の決断のもと、課長級だけでなく職員員の異動については基本、適材適所を一番に考えて任命している。

【町長】そうするつもりはない、私は私のやり方でいきたい。

【町長】私の決断のもと、課長級だけでなく職員員の異動については基本、適材適所を一番に考えて任命している。

【町長】私の決断のもと、課長級だけでなく職員員の異動については基本、適材適所を一番に考えて任命している。

【町長】そうするつもりはない、私は私のやり方でいきたい。

【町長】私の決断のもと、課長級だけでなく職員員の異動については基本、適材適所を一番に考えて任命している。



消防大会の様子

況を4、5年続けた。関係団体との意見交換も踏まえ新たな協会のイメージ、規約、組織案について検討を行なっている。

【町長】消防団員の減少また消防団の業務、責務は非常に大きく本年は地震、大雨もあり出勤回数も多くなっている。まずは商店街の理解をいただき前向きに取り組みたい。



災害復旧の早期完了を

熊谷 博行

【建設課長】県下で災害件数が多いので査定に時間をとられている。査定終了後には、随時発注する。

【建設課長】先が見えないような状況なので全止めは、継続していく。車止め等を移動して通行するため強固なものを考える。

【建設課長】先が見えないような状況なので全止めは、継続していく。車止め等を移動して通行するため強固なものを考える。

【建設課長】先が見えないような状況なので全止めは、継続していく。車止め等を移動して通行するため強固なものを考える。



新湯川災害ヶ所

【建設課長】13棟のうち7棟は完了し、現在8棟目にかかっている。業者がいらない状況である。今後は、早急に進めたい。

【建設課長】今後確認し早急に対応したい。



町政懇談会の結果及び森林台帳の作成について 時松 昭弘

町政懇談会で、いろいろな意見が出たと思うが、検証、今後の取組は。【町長】今回、副町長が就任し久々に懇談会を開いた。地震の影響、財政の状況、町施策、医療費等の説明をした。

【総務課長】広報9月号で掲載、町のホームページで公開している。出来ることから即取組、中長期的に取り組んでいく。

【町長】6会場で258名、参加者が少ない印象だが、地震後でもあり、農地、道路、避難所等町民の中では、不安があり早急に対応して予算確保をして行かなければならないと考える。今後どのように進めるのか。

【建設課長】審査を受けての災害復旧となり、それ以外は町単独事業となる。管理外農道については、今後の課題。

【町長】間住居がある農道は、今後町道に引き上げる必要がある。

【建設課長】政策的に大きく捉えて検討して行く必要がある。

【町長】間具体的に調査をして頂きたい。



手入れされた森林

【町長】検討させて頂く。

【町長】森林法の改正に伴う29年4月からの森林台帳の整備は。

【産業課長】4月1日からとなつていますが31年3月までの経過措置が設けられている。今後、県と連携して整備に取り組む。

【町長】地籍調査が済んでいる所から整備をしたらどうか。

【町長】登記データの集約等の作業をし、スピード感を持つて取り組んで行きたい。



汚水処理構想における対策と奨学金支援について 北里 勝義

個人設置型浄化槽整備を推進するにあたり、補助の見直しや整備率の向上に向けてどのように検討し、周知活動を行ってきたか。また店舗や店舗兼住宅・集会施設など補助の見直しが必要と考えるが。

【町長】循環型社会形成推進交付金を活用して、個人設置型浄化槽の整備を進めている。また補助の見直し等については、上下水道事業運営審議会に諮問して、答申をいただきながら検討していきたい。

【建設課長】ホームページ・広報掲載等で補助制度や事業の説明を行っている。

【町長】整備した農集排施設等の維持管理費に繰出金が充てられているが、今後維持管理費の削減と併せて水洗化率や収納率の向上に努めなければならないと考える。また個人設置型浄化槽との維持管理費等の格差が生じている。町からの助成等の検討を。

【町長】水洗化率や収納率の向上

は、大事なことを思っている。啓発や分析を行いながら水洗化率や収納率の向上に努めたい。

【町長】奨学金の利用が増加傾向にある中で、奨学金の返還が生活の重荷となり、少子化につながりかねないとの指摘もある。頑張っている若い人たちを応援していくことは大事なことを思う。奨学金返還支援事業の検討を。

【教育長】奨学金返還事業については、地方創生推進事業として行っている自治体が多い。本町においても、看護師の確保について行っており、各関係機関で検討すべきと考える。

【町長】特色あるまちづくりを進めていく中で、奨学金についていってもいろんな方向性を模索しながら検討したい。



西里農集最終処分場



低所得者住宅に空き家の活用を

児玉 智博

【町長】平成27年度は町営住宅抽選会が3度行われた。平均倍率は2.71倍。何回応募してもなかなか入れない人も多数いる。

国交省は低所得者向け住宅に空き家を活用し、家賃やリフォーム代の補助を検討するとしている。この制度をどう思うか。

【町長】注視していきたい。国や県の説明会があれば積極的に参加する等、情報収集していきたい。

【建設課長】関連法が成立した所で検討していきたいと考える。

【町長】同じような取り組みを移住者向けには行っている。これを発展させ、移住者だけでなく町民も利用出来るようにすべきだ。誰もが分け隔てなく行政サービスを受けられるようにする事が、自治体が取るべき立場だ。

【町長】人口問題で、移住中心に傾く小国町の政策を見て「出ていく人を減らす努力をしなければ、町の伝統や繋がりは壊れていくばかり」という声もある。所得に応じて家賃が決まる公営住宅を増やす事は人口流出を食い止める一つの方策だと思つので、しっかりと国の制度を活用してほしい。



建築中の倉原住宅



登録してある空き家バンク



一遊休町有地の活用について

大塚 英博

【町長】桜ヶ丘住宅の解体後の土地の活用計画について伺う。

【建設課長】退去された住宅は、防犯上や安全面から解体をし、駐車場や避難場所として整備をしている。桜ヶ丘団地全体についての計画は今のところない。

【総務課長】今後給食センターの跡地の土地利用について伺う。

【建設課長】今後給食センター備品等の処分後に検討していく。

【町長】土地を探して新築したいが町内は農振地が多くて宅地変更が難しいが住宅用地の確保について伺う。

【町長】町が積極的に取得して、不動産業のような部分を町がすることは考えていない。

【町長】町政懇談会について出席できなかった町民に資料の大事な部分の広報について伺う。

【総務課長】各大字1ヶ所で開催し、出席者数が258名でした。早速9月号の小国広報で概要と質問事項の2項目を掲載させて町民に周知をした。地域から出

た意見と回答という形でホームページに掲載している。

【町長】地熱開発の利用については非常に関心が高く、何らかのメリットを期待している。岳の湯地区の発展が小国町の未来につながると考えるが長期的なビジョンがあるのか伺う。

【町長】発電事業も既存の団体と連携をさせていただき町が少し関与ができるような組織を今後検討できないかという考えをもっている。



旧給食センター



小国町の総合計画と地方版 総合戦略について

時松 唯一

【問】汚水処理構想（平成25年3月製本）の浄化槽維持管理費（リッター当りの汲み取り単価）の確認とその価格決定にいたる経緯について問う。

【町長】リッター13円との記載がありますが、現状14円であり訂正する。料金は業務委託先業者との協議の上決定している。

【問】熊本地震を受けて新たな防災マップ作成を提案していたが、その後の進捗を問う。

【総務課長】平成28年度で土砂災害区域調査が終了する予定である。平成29年度に新たな防災マップ作成を検討中である。

【問】小国町地方版総合戦略において、過去5年間の実績と今後の展望を問う。

【町長】過去に作成した3つのシナリオと現在の総合計画の連携をはかり、産業、観光、文化、教育、福祉それぞれのジャンルを一定の枠の中で踏襲してやっていく。また地方創生という国の施策を交えた総合計画にしていく。

【問】地方創生という中で、エネルギー、特産品など「特化」して形にする

ことが大事であると考えているが、それがあるのかを問う。また総合計画の中で、現在上田地区で取り組んでいる集約農業の進捗状況を問う。

【町長】バランスを考えどの部門について選択「特化」するのか慎重に議論している。

【産業課長】集約農業において上田3・4・5部地区は県の重点地区の指定を受け「推進委員会」「営農改善組合」の設立後、平成29年度には法人化を目標としている。

【問】小国町への定住・移住において、移住者が地域の公役制度になじめないと聞くが、移住時に説明はできているのかを問う。

【政策課長】田舎暮らし窓口、地域おこし協力隊を配置し情報を提供している。

【問】職員のスキルアップをどうのように行っていくかを問う。

【町長】職員においては自己啓発、職場研修、職場外研修など積極的に受けてもらっている。自治大学校や町村職員の研修場所が全国にあるのでさらなるスキルアップを促す。



小国、大津線の冬季対策

松本 明雄

【問】現在、熊本市内へ行くには主にミルクロードを通るコースが大半になっている。しかし、ミルクロードは震災前から冬季は積雪等で通行出来なかった。震災後は通行量が増加し、事故や故障車で渋滞が頻繁にみられるが、登坂車線等整備の対策は。

【町長】冬季の安全なミルクロードの通行は、住民の切実な思いと考える。町としても熊本県に対して要望をした。ただその際に登坂車線は難しいのでチェーン着脱場を作る計画があると聞いている。



ミルクロード



【問】九州復興割で旅館等はかなりお客が戻ってきたが、観光業はまだまだ厳しいと感じている。南小国町は復興割と併せて商品券を出しているが、町としての考えは。

【町長】様子をみて、その後検討したい。



上水道料金および、有害鳥獣 駆除単価について

高村 祝次

【問】熊本地震で水源に被害を受けた杖立地区では、独自にボーリングを行ったが、その水をタンクに給水できない状態であると聞いている。その理由を問う。

【建設課長】水源被害の復旧については先日、厚労省への災害復旧事業申請の回答が100%査定となり、その財源を基に行っている。またボーリングをした水の水質検査の結果次第によらなければ、タンクには入れられないと話している。

【問】現在、町内4か所の上水道料金が別々になっている。料金の町内統一は何時になるのかを問う。

【建設課長】厚労省より今年度いっぱいを目処に統合するよう指示があり、各地区へ投げかけている。意見のばらつきはあるものの、地元の意向を尊重しつつ統合に向けて動いている状態である。

【問】イノシシ・シカ一頭当たりの駆除単価が南小国町との比較で安いのは何故か。駆除を一生懸命している方の事を考え、駆除単

価の見直し(値上げ)を問う。

【産業課長】支給は有害鳥獣で捕獲した個体に支給するものではなく、捕獲に要した経費に対して支給するという補助事業の交付目的を考慮し、町として計上してきた経緯がある。しかし、隣接する市町村との兼ね合いも含め改善の余地があり検討させていただく。

【町長】現状を把握したうえで農作物被害の防止という観点から、来年度予算において前向きに反映していきたいと考える。



指定管理施設(木魂館)

第6回 全員協議会 平成28年9月2日

- 9月2日午後1時から、森林保全センターで第6回全員協議会が開催されました。全員協議会では、9月定例会に上程予定の条例改正1件、平成28年度一般会計補正予算1件、特別会計補正予算2件についての説明・質疑が行われました。また、会議の中で農委・農地制度改正と放棄する私債権についての報告を受けました。

第2回 開発センター建替え検討特別委員会 平成28年10月21日

- 10月21日午後2時から森林保全センターで第2回開発センター建替え検討特別委員会が開催され、前回同様、執行部から建替え施設のイメージ図の説明や今後のスケジュールについて説明があり質疑応答を行いました。

臨時議会 平成28年10月21日

- 10月21日午後3時から森林保全センターで第3回臨時議会が開催されました。今回の臨時議会では、取り壊しを予定している開発センターの電気室の新設や自家発電機の移動に係る経費が主な補正内容です。



移設する自家発電機

議員研修

阿蘇市町村正・副議長、常任委員長、議会運営委員長研修会

- 8月5日、午後3時30分から、阿蘇市の「サンクラウン大阿蘇」で、各委員長を対象にした研修会が開催されました。研修では、熊本県町村議会議長会の古家陽介事務局長の「第31次地方制度調査会の概要と事例問題解説」についての講演を聞きました。終了後は、阿蘇地域振興懇談会に参加しました。

熊本県町村議会常任委員長・議会運営委員長研修会

- 8月23日、午後2時から美里町の「美里町文化交流センターひびき」で、議会の各委員長を対象にした研修会に参加しました。研修では、名古屋大学の生源寺眞一大学院教授の「TPPによる農業への影響と今後の農業のあり方について」の講演を聞きました。

熊本県町村議会議員研修会

- 10月13日、午後1時30分から菊陽町の図書館ホールで、熊本県内の町村議員対象の研修会に参加しました。研修では、読売新聞東京本社編集局企画委員 青山彰久氏の「地方議会の課題と活性化策―地方創生と地方議会の役割―」についての講演を聞きました。また、講演後には熊本県の認知症対策・地域ケア推進課の松尾課長から「熊本県の認知症対策について」説明がありました。



熊本県町村議会議員研修会

阿蘇郡市町村議会議員研修会

- 10月21日、午前10時20分から阿蘇市の「阿蘇プラザホテル」で、郡内の議会議員を対象にした研修会に参加しました。研修では、熊本日新聞社 新聞博物館の平野有益氏の「熊本地震からの復旧・復興」についての講演を聞きました。



阿蘇郡市町村議会議員研修会

編集後記

熊本地震から半年が過ぎ、わが町においては日常感を取り戻してきたようです。

さて9月定例議会も無事終了いたしました。9月は、決算議会ということで、毎年長めの会期となりますが、今年は議場が確保出来ず余計長い会期となりました。

人事案件では、新教育長と教育委員の再選があり新しい教育委員会がスタート致しました。今以上の学校教育に邁進していくと期待しています。

季節も夏からいきなり秋へ突入し、マスク姿の人を多く見かけます。そんな矢先10月10日早朝、大字宮原殿町で大火災が発生しました。被災者の皆さまには、心よりお見舞い申し上げます。現時点では、実地検証の段階で、私は編集後記作成中ですが今後の展開は、随時、行政より報告があります。

今回の『議会だより』は、考え深いものになりました。町民の皆さまも年末に向け十分注意し、お過ごしください。

(熊谷 博行)

【発行責任者】

議長 渡邊 誠次

【広報委員会】

委員長 熊谷 博行

副委員長 穴見 まち子

委員 松崎 俊一

委員 穴井 帝史